

各単組 定期大会 全国港湾産別に結集しよう!

全港湾



全港湾第94回定期全国大会を愛知県豊橋市シーパレスリゾートにおいて9月14日～15日の二日間の日程で開催した。

全国から大会代議員87名、中央本部役員19名、特別代議員61名、傍聴（会場係）4名を含め171名が出席し議長団は城光茂（日本海）丸山義宏（関東）が務めた。

鈴木誠一中央執行委員長は挨拶で「資源の無い、食料自給率の低い島国日本において輸出入貨物の99・6%が港湾で扱われます。港湾労働者は5万1千余名です。1億2千万の国民生活を裏付けている。これほど

最後に大会宣言を採択し、委員長・鈴木誠一の団結カンパニーで締めくくりました。

日港労連



「プレミアホテルキャビンプレジデント函館」に於いて開催した。

日本港湾労働組合連合会では、9月13日～14日に掛け、第71回定期大会を北海道

の基幹産業に誇り思っただけで、現業労働者の地位向上・職域の確保・安全問題など多岐に亘る運動方針案が満場一致で確認された。

検数労連



9月7日から8日7日にかけて、横浜波止場会館大ホールで第55回検数労連定期全国大会を開催しました。

今年定期大会は全国検数労連結成50周年という節目の大会であり、激励のあいさつに來てくださった全国港湾玉田書記長をはじめ、多くの共闘関係者からたくさんのお言葉を頂戴し、感謝申し上げます。

22年度の経過と総括では、昨年度の大会以降、我々を取り巻く環境は異常な物価高騰が暮らしを直撃する中で、家計や将来不安に加えコロナ禍の中での生活

検定労連

検定労連第51回定期大会は、9月26日（火）から28



大会は、開会挨拶及び資格審査の後、議長に宮崎代

大港労組



大阪港湾労働組合は10月6日、大阪港湾労働者福祉センターに於いて第71回定期大会を開催した。

全倉運



全倉運は9月11日（月）

知県豊橋市のシーパレスリゾートで第78回定期大会を開催し、総数75名が参加、議長団に三菱倉庫労組の前

議員（海事職組）、元（はじめ）代議員（シンケン労組）と各大会役員を確立し、全国港湾真島委員長の激励の挨拶を頂き、中央執行委員提出議案、決算および予算案について審議し、全会一致で採択された。

今年、コロナ禍以前の体制で開催。執行部・代議員を含め109名参加のもと、議長に、大津代議員（大港支部）盛田代議員（大阪荷役支部）を選出し、議事進行を行った。

田代議員と濫発倉庫労組の中谷代議員を選出した。挨拶にたった山本晃弘委員長は「昨年は、賃上げ・一時金引き上げの取り組みなどで一定の成果を上げたものの、終わりの見えない物価上昇や増税が生活に多大な影響を及ぼす現状から、継続的な賃上げや労働条件改善など、すべての単組が一丸となって取り組んでいこう」と呼びかけた。

その後、年間の活動経過を報告、新年度の運動方針などを審議、採択した。新年度の役員選挙では、新たに石田壮一・中央執行委員長（住友倉庫労組）を選出するなど新役員候補者全員が信任を受け、新年度執行部の体制を固めた。

大会の最後には、石田中央執行委員長の団結カンパニーで締めくくった。



アメリカではハリウッド俳優や脚本家によるストライキが続いている。大学や自治体職員、

コーヒショップの従業員など、賃上げや待遇改善を求めてストライキも相次いでいる。バイデン政権はさぞや困っているのかといえ、そうではない▼労働者が労組を結成し、声を上げることが不平等を減らし米経済の成長につながる▼そう力説する調査報告書を米財務省が発表したのだ。また、労組による待遇改善が行われると、組合の無い他企業でも待遇改善を余儀なくされる▼波及効果があるとも指摘。さらに人種や男女間の賃金格差の縮小など平等を推進する役割を果たすと述べている▼そのうえで、報告書は「労働組合は中間層への影響だけでなく、経済全体の成長に貢献する。不平等を減らし、長期的な経済成長と回復力を支える」と評価する見解を示した▼アメリカではインフレが進む中、ストが増加傾向にあり、労働者が声を上げている。一方、日本の「官製春闘」では、賃上げは一部の大手企業にとどまり、限定的にならざるを得ない。大きなうねりとするには、労働者が声を上げ、労働組合を強くすることが必要となる。アメリカ財務省報告の提起は日本社会にとっても有効ではないかと言